PaperStream Capture
過去のアップデートにおける主な変更点

【6.2.0 での変更点】

以下の機能を追加しました。

1. 非管理者ユーザーでも、管理者権限を必要としない範囲の設定・ジョブを移入できるようにしました。管理者権限を付与できないセキュリティ環境でのジョブ展開を可能にします。

2. 異なる Windows 表示言語・地域設定の環境間でもジョブを移入できるようにしました。

   座標値などの環境依存データを補正し、多言語環境でのジョブ共有を可能にします。

3. インデックスファイルへ出力する明細列の順序を変更できるようにしました。

   必要な明細項目だけを、利用者が指定した順序で CSV／XML／TXT へ出力できます。

4. スキャンした各ページが ADF またはフラットベッドのどちらで読み取られたかを、インデックス情報として出力できるようにしました。出力値はページごとに ADF または Flatbed として記録されます。

5. 複数ページ文書の抽出結果を、1 行のインデックスデータとして出力できなかった問題を修正した上で、従来出力されなかった明細フィールドも含め、文書内の抽出結果を集約して出力できるようにしました。

以下の不具合を修正しました。

1. 「リストから選択」フィールドで、候補数が多い場合に操作が遅い問題や、入力・選択が正しく反映されない問題を修正しました。

2. 読み取り設定を変更した際に読み取りタブ内の保存ではなくジョブの保存を選択したとき、このジョブで選択したドライバープロファイルには保存されず、直前に参照したドライバープロファイルに保存してしまう場合がある問題を修正しました。

3. インターネットに接続されていない環境では PaperStream AI 接続処理によってアプリや管理ツールの起動およびジョブの編集が遅くなる場合があったため、PaperStream AI を無効にする設定を追加しました。

【6.1.1 での変更点】

以下の不具合を修正しました。

1. 軽微な不具合を修正しました。

【6.1.0 での変更点】

以下の機能を追加しました。

1. 仕分け時のバーコード/ゾーン OCR/帳票仕分け処理性能を改善しました。

2. 追加スキャン後、画面操作が可能になるまでの時間を短縮しました。

以下の不具合を修正しました。

1. SharePoint Online のサイト列に種類「はい/いいえ」が含まれるコンテンツタイプと同期したフィールドに数値が入力された場合、アップロードに失敗する障害を修正しました。
2. 明細項目名の前後の空白文字により認識結果表示が失敗する不具合を修正しました。
3. Windows ユーザー名に 2 バイト文字を含む場合、PSIP Import でエラーが発生する不具合を修正しました。
4. PSC 5.x Docuware/Laserfiche 連携ジョブを新規移入時、連携フィールドが全て"-"表示になる不具合を修正しました。
5. PSC 5.x でフィールド名を変更した Docuware/Laserfiche 連携帳票が、アップデート後に Docuware/Laserfiche へ連携されない不具合を修正しました。
6. PaperStream Capture の終了状態からイベントスキャンを実行すると「選択可能なスキャナーが見つかりません」となる不具合を修正しました。
7. QC 画面でページ単位フィールド選択後に他ページを表示すると、エリア設定で指定ページを変更することができない不具合を修正しました。

【6.0.2 での変更点】

以下の不具合を修正しました。

1. スキャン性能の低下もしくは、スキャン中にサムネールが表示されない場合がある問題を修正しました。
2. PaperStream Capture Pro / Pro Premium 5.2 以前のバージョンで作成されたジョブを、バージョン 6.0 で実行した場合、帳票データのインデックスファイル出力形式が従来の形式と異なる問題を修正しました。
   すでに PaperStream Capture 6.0.0 または 6.0.1 にアップデートし事象が発生している場合は「ファイルヘッダー名を指定する」を OFF に変更することで、PaperStream Capture 5.2 以前と同じ出力結果を得られます。

【6.0.1 での変更点】

以下の機能を改善しました。

1. 軽微な修正を行いました。

【6.0.0 での変更点】

以下の機能を改善しました。

1. インデックス出力項目のヘッダー値を任意で変更できるように対応しました。

2. OCR 結果の確信度の閾値をフィールド項目ごとに設定する機能を追加しました。

以下の不具合を修正しました。

1. SharePoint Online の IDCRL 認証廃止に向けた対応として、OAuth2.0 での認証に対応します。
2. Windows アカウント名が 2Byte 以上の Unicode だと帳票識別処理に失敗する問題を修正しました。

【5.2.1 での変更点】

以下の機能を改善しました。

1. SP-2240N に対応しました。

以下の不具合を修正しました。

1. PaperStream Capture の移出ツールで SP シリーズ向け PSIP(TWAIN)のドライバープロファイル移出に失敗する場合がある問題を修正しました。

【5.2.0 での変更点】

以下の機能を改善しました。

1. 管理ツールの出力タブに「Office 変換機能の設定」を追加して、本製品のみで Office ファイル(Word, Excel, PowerPoint)出力できるようにしました。
2. 帳票 OCR の性能を改善しました。
3. インストーラーに含まれていた .NET Framework Runtime 4.7.2 を除外しました。
4. インストーラーに fi/SP Series Online Update を同梱して同時にインストール可能にしました。
5. ジョブ設定画面のデータ抽出タブで、「バーコードの設定」に「不鮮明な 1 次元バーコードの読み取り」をチェックすることで、1 次元バーコードの読み取り精度を上げられるようになりました。
6. 読み取った画像の出力先の「メール送信」と「FAX」について、Exchange Online の OAuth 2.0 認証に対応しました。
   - メール送信(Exchange Online)
   - FAX(Exchange Online)
   ※Exchange Online の OAuth 2.0 認証を利用する場合、PaperStream Connector Option 1.1.0 をあわせてインストールする必要があります。

以下の不具合を修正しました。

1. マルチステーション環境で、ネットワークエラーによりジョブが破損し、運用できなくなる問題を修正しました。
2. TIFF 出力時のファイルフォーマットを改善しました。
3. 移出される管理ツールの設定項目をマニュアルに記載しました。
4. 上部に傾いた矩形がある帳票の場合、帳票 OCR で設定エリアの位置がずれる問題を修正しました。

【5.1.0 での変更点】

以下の機能を改善しました。

1. 類似した定型帳票を、帳票上の文字列で識別する機能を追加しました。
2. PDF/A の対応準拠レベルに、PDF/A-2b、PDF/A-2u、PDF/A-3b、または PDF/A-3u を追加し、選択できるようにしました。
3. 帳票登録時に複数ページをまとめて登録できる機能を追加しました。
4. ファイル名オプションの編集文字列で、スキャン前に入力する機能を追加しました。
5. 帳票登録画面に「やり直す」機能を追加しました。

以下の不具合を修正しました。

1. PDF ファイルを入力したときに、低解像度で画像が出力されることがある問題を修正しました。
2. PDF パスワード設定画面の表示タイミングを修正しました。
3. スキャン画面でフィールドの値が編集できない場合がある問題を修正しました。

【5.0.3 での変更点】

以下の不具合を修正しました。

1. オンラインアップデートで最新版へアップデートできない問題に対応しました。
   この対応は fi Series Online Update 1.2.40.0 のインストールも必要です。
2. 軽微な不具合を修正しました。

【5.0.0 での変更点】

以下の機能を追加しました。

1. 帳票形式の識別によるファイル/フォルダー仕分に対応しました。
2. 帳票形式に応じたデータ抽出に対応しました。
3. 音声読み上げソフトに対応しました。

以下の機能を改善しました。

1. 管理ツールの「アップデート」タブを削除しました。

【4.2.0→ 4.3.0 での変更点】

以下の機能を改善しました。

1. 管理ツールの出力タブに「Office 変換機能の設定」を追加して、本製品のみで Office ファイル(Word, Excel, PowerPoint)出力できるようにしました。
2. 読み取った画像の出力先の「メール送信」と「FAX」について、Exchange Online の OAuth 2.0 認証に対応しました。
   - メール送信(Exchange Online)
   - FAX(Exchange Online)
   ※Exchange Online の OAuth 2.0 認証を利用する場合、PaperStream Connector Option 1.1.0 をあわせてインストールする必要があります。

以下の不具合を修正しました。

1. マルチステーション環境で、ネットワークエラーによりジョブが破損し、運用できなくなる問題を修正

しました。
2. TIFF 出力時のファイルフォーマットを改善しました。
3. 移出される管理ツールの設定項目をマニュアルに記載しました。

【4.1.0→ 4.2.0 での変更点】

以下の機能を改善しました。

1. ファイル名オプションから編集文字列の入力時、ファイル名規則『編集文字列(スキャン前入力)』を追加します。

以下の不具合を修正しました。

1. PaperStream Capture 5.0 の Pro または Pro Premium でアクティベーション・アンインストール後、PaperStream Capture 4.1 以前をインストールすると、アクティベーションできなくなる問題に対応しました。
2. マルチステーション運用中、稀に「ストレージサーバーへの接続に失敗しました。」が表示され、PaperStream Capture が起動できなくなる問題に対応しました。
3. 一時保存中のバッチをリリースする前に、同ジョブでスキャンした場合、バッチカウンターが重複する問題に対応しました。また、その後、PaperStream Capture を再起動して、同バッチでスキャンすると、カウンターが飛ぶ問題に対応しました。
4. ベクタ形式で作成された PDF ファイルを PaperStream Capture に入力した際、ページ全体の解像度が低解像度となる場合がある問題に対応しました。

【4.0.1→ 4.1.0 での変更点】

以下の機能を改善しました。

1. 強制終了等によりバッチが処理異常状態となった場合、バッチ管理画面からリカバリー操作ができるよう対応しました。
2. スキャン中に画像チェックとして、表示イメージの選択（切り替え）、マークの付与/削除ができるように対応しました。

以下の不具合を修正しました。

1. 検索可能な PDF、データ抽出（ゾーン OCR）など複数の文字認識を行う設定を指定した場合、読み取り中にハングする場合がある問題に対応しました。
2. マルチイメージ出力、かつページカウンターの「日付が変わったらリセットする」を指定している場合、ページカウンターの初期値がリセットされない場合がある問題に対応しました。
3. 出力ファイル形式に検索可能な PDF を指定している場合、特定原稿の読み取りで、破損したファイルが作成され、リリースエラーとなる場合がある問題に対応しました。
4. ドライバーの設定画面表示時に、PaperStream Capture で指定していないプロファイルが選択される場合がある問題に対応しました。
5. 原稿のコンテンツを 2 次元コード（DataMatrix） と誤認識する場合がある問題を改善しました。
6. マルチイメージ出力時、不当に同名ファイルのエラーが発生する場合がある問題に対応しました。
7. アプリケーションの強制終了に起因し、ジョブが消失してしまう場合がある問題に対応しました。
8. 特定の PDF ファイルを入力しようとするとエラーが発生し入力できない問題に対応しました。
9. QR コードの認識率を改善しました。

【4.0.0→ 4.0.1 での変更点】

以下の不具合を修正しました。

1. 軽微な不具合を修正しました。

【3.6.0 → 4.0.0 での変更点】

以下の機能を改善しました。

1. UX/UI を改善し、直感的で使い勝手の良い操作性を実現しました。
2. 条件に該当するバーコードを検索する際に、エリア内で最初に検知したバーコードだけでなく、エリア内のすべてのバーコードとマッチングさせるように修正しました。

以下の不具合を修正しました。

2. 以下の設定（And 条件）でスキャンを行った場合、裏面の画像タイプが設定と異なる場合がある不具合に対応しました。
    - シンプルスキャンモード
    - ADF 両面（仮想）
    - スキャン時に TWAIN ドライバーの UI を表示する
3. 中断したバッチ再開すると、出力中のままとなる場合がある不具合に対応しました。
4. 出力が完了していないバッチが存在する時にカウンターが一致しない可能性がある警告メッセージが表示されない場合がある不具合に対応しました。
5. スキャナー側から Push スキャンすると、PSC は起動するが、スキャンが開始されない場合がある不具合に対応しました。
6. シンプルスキャンモードで、ドライバー設定及びスキャンができなくなる場合がある不具合に対応しました。

【3.5.1 → 3.6.0 での変更点】

以下の機能を改善しました。

1. PaperStream Connector Option に対応しました。
2. 出力先－プリンターの設定にて、印刷の向き（自動/縦/横）を指定可能としました。

以下の不具合を修正しました。

1. 出力先－プリンターのプロパティ設定にて、プリンターのメーカー固有情報で保存されない項目がある問題に対応しました。

2. プリンター出力時、プリンターにより印刷が欠ける場合がある問題に対応しました。
3. 出力ファイル名にメタデータを設定している場合、スキャン後のリリース完了までの時間がバージョン 3 以降で遅くなる問題に対応しました。
4. シンプルスキャンモードでマルチストリーム、および上下分割の設定でスキャンすると、ページカウンターが重複して設定される問題に対応しました。
5. PSC で出力したファイル内のページ順が、サムネイル画像表示順と異なる場合がある問題に対応しました。
6. 一つのバッチの中でシートカウンターが初期化され、同じシートカウンターが付与されたファイルが出力される場合がある問題に対応しました。

【3.5.0 → 3.5.1 での変更点】

以下の不具合を修正しました。

1. トルコ語環境で PaperStream Capture 3.5.0 にて PDF ファイルを正しく扱えない場合がある、という不具合に対応しました。

【3.2.0 → 3.5.0 での変更点】

以下の機能を追加しました。

1. fi-8040、fi-70F に対応しました。
2. 二次元バーコードが標準機能としてご利用いただけるようになりました。

以下の不具合を修正しました。

1. PDF のリリースに失敗する場合がある問題の対応に対応しました。
2. 出力先に SharePoint/SharePoint Online を指定し、ファイル名に「#」または「%」が含まれていると、リリース時にエラーとなる問題に対応しました。

その他

1. 動作環境である Microsoft .Net Framework のバージョンを 4.7.2 以降としました。

【3.1.4 → 3.2.0 での変更点】

以下の機能を改善しました。

1. SharePoint Online 接続操作を改善しました。
2. インデックスファイルに出力する QR コード認識結果の最大文字数(512 文字)の制限をなくしました。
3. インデックス出力の設定に「ドキュメントのメタデータを 1 行で出力する」を追加しました。

以下の不具合を修正しました。

1. ベクタ形式で作成された既存 PDF ファイルを PSC に入力した際、取り込んだ画像が低解像度となり画像内の QR コードが認識できない場合がある問題に対応しました。
2. 空白の入ったユーザー名でエキスポートしたプロファイルをインポートした場合、PSIP のプロファイルが置き換わらない問題に対応しました。
3. スキャンが完了しサムネイルが表示されているにも関わらず、バッチ操作可能となるまでに、不当に時間がかかる場合がある問題に対応しました。
4. ドライバープロファイルで「長尺帳票分割」を指定しているにも関わらず、バッチスキャンにて長尺原稿を読み取ると、原稿づまりエラーが発生してしまう問題に対応しました。
5. マルチイメージの設定でシンプルスキャンを行った場合、出力ファイル名のページカウンター部分が、マルチイメージの出力画像毎にインクリメントされる場合がある問題に対応しました。
6. マルチステーション運用時、1 ページ単位の画像サイズが 64MB を超えるような設定でスキャンを行った場合、エラーとなり一次保存できない問題に対応しました。
7. ドキュメントセパレーター、および PDF のオプションとして「先頭ページのみ検索可能とする」を指定した場合、先頭ドキュメントの先頭ページしか検索可能にならない問題に対応しました。
8. ファイル名に「ファイル出力詳細日時」のみを指定してバッチスキャンした場合、ファイル名の重複が発生する場合がある問題に対応しました。

その他

1. Microsoft .Net Framework 4.5.2/4.6/4.6.1 のサポートを終了しました。

【3.1.1 → 3.1.4 での変更点】

以下の不具合を修正しました。

1. フォルダー別に同名の出力ファイルが生成されない問題に対応しました。
2. ファイル名に付与したページカウンターがカウントアップされない場合がある問題に対応しました。
3. SharePoint Online へのアップロードでエラーとなる場合がある問題に対応しました。

【3.1.0 → 3.1.1 での変更点】

以下の不具合を修正しました。

1. バッチスキャンを実施してもファイルが生成されない場合がある問題に対応しました。
2. バッチスキャン、追加スキャンを実行した時にフリーズする場合がある問題に対応しました。

【3.0.1 → 3.1.0 での変更点】

以下の機能を追加しました。

1. パスポート MRZ 認識と同様に、ICAO TD2 の ID カード認識に対応しました。
   （PaperStream IP 3.10.0 との連携動作）

2. バッチプロファイル設定の「セパレーション」タブに、「セパレーター原稿(シート)の画像はすべて削除する」チェックボックスを追加しました。下記のセパレーターが指定されている時に選択可能です。

   i. ゾーン OCR

   ii. パッチコード

   iii. バーコード

   iv. 原稿識別

3. インデックスの「設定可能項目」に下記の項目を追加しました。

   i. ファイルサイズ（バイト）

   ii. 現在のドキュメントの総シート数

   iii. ドキュメントセパレーター値

4. ゾーン OCR 言語とサーチャブル PDF 言語に、タイ語、インドネシア語を追加しました。

5. ドキュメントプロファイル設定画面のセパレーションタブに「削除されたページのメタデータ情報を残す」チェックボックスを追加しました。下記のセパレーターが指定されている時に選択可能です。

   i. ゾーン OCR

   ii. バーコード

   iii. 原稿識別

6. メタデータ定義の適用ページとして「全ページ」を指定可能とし、各ページに存在するバーコードからメタデータを抽出できるようにしました。

以下の機能を改善しました。

1. シンプルスキャンとバッチスキャンのサムネイルパンを分離できるように対応しました。
   また、バッチスキャンのツールバーを隠せるように対応しました。

2. SharePoint Online の多要素認証（MFA）指定されたアカウントでリリースできるように対応しました。

3. Box 連携を行う際、インデックスファイルがアップロードされるように対応しました。

4. Recovery Tool で旧版 PaperStream Capture 2.X の滞留バッチを復旧できるように改善しました。

以下の不具合を修正しました。

1. OCR 処理に渡す画像を解像度に応じて変倍し、エラーが発生しないように対応しました。
2. 出力先が「フォルダー」「ネットワークフォルダー」「他アプリケーション」「プリンター」の場合に、フォルダー名、ファイル名、インデックスファイル名の中にメタデータを指定する場合、メタデータ結果に含まれる「￥」を「_」に変換する処理を行わないように対応しました。
3. SharePoint Online へのアクセス時、前回アクセスからの経過時間が既定値を超えた場合、初回と同じようにプロファイルに定義されたアクセス情報でログインし直し、エラーが発生しないように対応しました。
4. インデックスファイルをイメージファイル最終出力フォルダーに配置するのではなく、プロファイルに設定された「フォルダー」と「インデックスファイル」に従って出力するように変更し、常に同じフォルダーに出力されるように対応しました。
5. 2 つ異なる領域のゾーン OCR 結果が同じ値になる場合がある問題に対応しました。

【3.0.0 → 3.0.1 での変更点】

以下の不具合を修正しました。

1. 2 次元バーコード（Aztec Code）の認識率が低くなる場合がある問題を修正しました。
2. ISIS ドライバーで出力画像の順番が読み取りした原稿の順番と異なる場合がある問題を修正しました。

【2.10.9 → 3.0.0 での変更点】

以下の機能を追加しました。

1. ICAO TD1 の ID カード認識に対応しました。
2. 設定アシスト機能を追加しました。
3. OCR 言語を追加しました。
    - ゾーン OCR 追加言語：オランダ、ポーランド、チェコ、スウェーデン、ルーマニア、ヘブライ、ウクライナ
    - サーチャブル PDF 追加言語：オランダ、ポーランド、チェコ、スウェーデン、ルーマニア、ヘブライ、ウクライナ

以下の機能を改善しました。

1. PSIP 設定表示時の UI/UX を改善しました。
2. 以下の画面表示を改善しました。
    - サムネイル画像の表示性能
    - ドラッグドロップでのファイル追加時の画像表示性能
    - プロファイル設定画面の表示性能
    - バッチ管理画面の表示性能
3. セパレーション設定で以下の機能を追加しました。
    - セパレーター値の条件(完全一致/先頭一致/部分一致/正規表現)を指定可能
    - 同じセパレーター値が連続した場合、分割しない動作に対応

- 原稿識別でのセパレーション設定で、未定義帳票でのセパレーションに対応

4. PDF のキーワード埋め込みに対応し、キーワードとしてメタデータを指定できるようになりました。
5. SharePoint 連携する際、保存する Folder を指定できるようになりました。
6. 名前規則でリリース時刻を追加しました(24 時間表記のミリ秒まで)。
7. 運用環境の移入操作が簡単にできるようになりました。
8. OCR 認識を改善しました。
   （ABBYY FineReader Engine 10.5 を ABBYY FineReader Engine 11 に、FJOCR を最新版に置き換え）
9. 2 次元バーコード認識機能を改善しました。
   （UTF-8 のテキストがエンコードされている QR コードの認識指定と、2 次元バーコード内に制御コード [NUL] が含まれた場合、[NUL] 以降のデータも出力する指定を追加）
10. 継続読み取り開始時にカウンター値の設定画面を追加しました。

以下の不具合を修正しました。

1. プロファイルや設定ファイルが破損した時のリカバリー処理に対応しました。
2. ファイルのタイムスタンプ変更を許可しない SFTP サーバへのファイル転送時にエラー SX03066E が発生してリリースができない問題に対応しました。

【2.10.0 → 2.10.9 での変更点】

以下の機能を改善しました。

1. PaperStream Capture の管理ツールから、検出するバーコード Code39 の形式を切り替えられるように対応しました。

【2.8.2 → 2.10.0 での変更点】

以下の機能を修正しました。

1. Microsoft® SharePoint® Server 2019 のサポートを追加しました。

以下の機能を改善しました。

1. イメージ確認の画面のサムネイル画像でマークを目立つように改善しました。
2. イメージ確認の画面で、インデックスパネルのパネル幅を変更できるように改善しました。

以下の不具合を修正しました。

1. "Ctrl"キー押下によるセパレーションが機能しない問題を修正しました。
2. PaperStream IP ドライバーの画面を最前面で表示しない場合がある問題を修正しました。
3. PaperStream Capture Pro において、「画質補正」と「セパレーターを削除する」を有効にしたドキュメントプロファイルでバッチスキャンすると、「スキャン中にオリジナル画像の取得に失敗しました。（SX03078E）」のエラーが発生する問題を修正しました。

【2.7.4 → 2.8.2 での変更点】

以下の不具合を修正しました。

1. fi-800R に対応しました。

2. パスポートの機械読取領域 (MRZ) を認識する機能を追加しました。
3. PaperStream IP の表裏判別の機能を追加しました。
   このとき、表裏判別の認識に失敗した場合に、誤認識した画像を「差し替え（表裏判別しない）」で再スキャンすることで差し替える、リカバリー機能を追加しました。
   (対象機種： fi-800R)
4. PaperStream IP（TWAIN）をお使いの場合、PSC 2.8.2 のインストール直後から、スキャナーの [Scan] ボタンからワンプッシュでスキャンする機能を追加しました。
5. ファイルを出力する際、出力先とファイル名を指定する「ファイル名の指定」画面を表示する機能を追加しました。
6. ScanSnap Manager for fi Series 互換の PDF 作成をサポートしました。

7. PaperStream IP の自動プロファイル選択機能を全機種に対応しました。
   自動プロファイル選択を ON にした PaperStream IP (TWAIN)のプロファイルを選択した場合、自動プロファイル選択と連携したマーク設定、セパレーション機能が使用可能です。
   (対象機種： fi-5950 / fi-6800 / fi-6400 / fi-6770 / fi-6670 / fi-6750S / fi-5530C2 / fi-7180 / fi-7280 / fi-7160 / fi-7260 / fi-6130Z / fi-6230Z / fi-6110 / fi-65F / fi-7480 / fi-7460 / fi-7030 / fi-7700 / fi-7600 / fi-7700S / fi-7300NX / fi-800R)

以下の機能を改善しました。

1. プロファイル設定画面のメタデータのフィールド定義の最大数を 20 個に拡張しました。

以下の不具合を修正しました。

1. 編集文字列を使用するドキュメントプロファイルで、スキャンを繰り返し実行すると、バッチが処理中になったままリリースされなくなる場合がある問題を修正しました。
2. Sharepoint Online へのアップロードでエラー「SX06033E」が発生する場合がある問題を修正しました。

【2.7.1 → 2.7.4 での変更点】

以下の不具合を修正しました。

1. Windows® 10 環境で、検索可能な PDF を作成するとき、正しく OCR 認識されない場合がある不具合を修正しました。
2. PaperStream IP を常駐し、かつ、スキャナー装置を占有する運用である場合、 [Send to] ボタンを押しても [Scan] ボタンに設定されたプロファイルが実行されてしまう不具合を修正しました。

【2.5.8 → 2.7.1 での変更点】

以下の機能を追加しました。

1. fi-7800、fi-7900 のサポートを追加しました。

2. PaperStream IP の自動プロファイル選択の機能に対応しました。(fi-7800、fi-7900 のみ)
   PaperStream IP (TWAIN)の場合、自動プロファイル選択と連携したマーク、セパレーション機能が使用可能です。
3. スキャン時のドキュメントプロファイルの表示/非表示をユーザー毎に管理できるように対応しました。
4. ドキュメントプロファイル一覧画面において、表示の並び順をユーザーが自由に変更できる機能を追加しました。
5. スキャン後のページ並び順を一括で並び替える機能に対応しました。
6. バッチスキャンのリリース手段として MAPI 対応アプリケーションを追加し、画像を添付ファイルとしてメール送信する機能に対応しました。
7. バッチスキャンのリリース手段としてプリンターを追加し、画像を印刷できる機能に対応しました。
8. ScandAll PRO の運用環境移出ツールで移出したファイルを PaperStream Capture の移入ツールでドキュメントプロファイルとして移入できるように対応しました。
9. バッチスキャン時もスキャン中に並行してリリース処理を行うモードを追加しました。
10. ABBYY FineReader for ScanSnap がインストール済みの環境において、バッチスキャンの出力として Microsoft® Word/Excel®/PowerPoint® のファイル形式に対応しました。
11. バッチスキャンの出力ファイル形式としてリッチテキスト形式(RTF)に対応しました。
12. PNG ファイルの入出力に対応しました。
13. マルチページファイルの出力時に指定サイズで分割する機能に対応しました。

以下の機能を改善しました。

1. PaperStream Capture の運用環境移出入の際に PaperStream IP プロファイルの移出入を行うことができるように対応しました。
2. 名前規則にフォルダー区切りを追加しました。
3. シートカウンターの初期値指定とインプリンタ連携に対応しました。
4. ドキュメントカウンター/ページカウンター/シートカウンターの各カウンターの日次リセットに対応しました。
5. 追加/挿入/差替えスキャン時に印字カウンターの初期値を指定してインプリンタで印字できるように対応しました。
6. 管理パスワードを使用する運用時でもパスワードなしでアドホックスキャンを実行できるモードを追加しました。
7. メタデータフィールドの上限を 10 個に増加し、複数のバーコードフィールドを指定できるように対応しました。
8. 出力 PDF バージョンを指定できるように対応しました。
9. エラー・警告バッチの通知方法を改善しました。

以下の不具合を修正しました。

1. CPU の負荷が高い状態で PDF ファイルを出力した場合、「プログラムが誤動作しました (SX06023E)」のエラーが表示され、出力に失敗することがある問題を修正しました。

【2.5.0.10 → 2.5.8 での変更点】

以下の機能を追加しました。

1. fi-7300NX のサポートを追加しました。

以下の機能を改善しました。

1. スキャナーのボタン押下からスキャナーの給紙動作開始までの速度を改善しました。
2. リリース未完了のバッチが存在する場合、インプリンタ連携のバッチスキャン実行時に警告メッセージを通知するように改善しました。
3. ドキュメントプロファイルの設定で「スキャン後すぐにリリース」と「マーク設定」を同時に指定された場合でもマーク発生時はスキャン後自動的にリリースせず、マーク画像を確認してリリースができるように改善しました。
4. ドライバープロファイルの設定で以下の画像タイプが指定されている場合、バッチスキャン後の追加スキャン、差し替えスキャン時にドライバープロファイルを選択してスキャン出来るようにしました。
    - カラー/モノクロ自動判別
    - コードシート切替え
    - 用紙長検出

以下の不具合を修正しました。

1. 「運用環境の移入」でドキュメントプロファイル移入時に、エラーが出て移入できない場合がある問題を修正しました。
2. バージョンを 2.5.0 にアップデート後、ポート 80 のサイトが停止してしまう問題に対して修正しました。
3. シンプルスキャンモードで仮想両面スキャンをする場合、設定によって表面のスキャン完了時にエラーとなる問題を修正しました。
4. リリース時にファイルが出力されず、バッチがリリース中状態のままとなる場合がある問題を修正しました。
5. リリース中のバッチがある状態で別のバッチのリリースを開始した場合、まれに PSC のバッチ管理画面でリリース中のバッチが「進行中」(インジケータの進捗が 0%)のまま滞留する問題を修正しました。

【2.5.0 → 2.5.0.10 での変更点】

以下の不具合を修正しました。

1. 検索可能な PDF ファイルのリリース時、稀に「SX06023E プログラムが誤動作しました」のエラーとなり、リリースできない不具合に対応しました。

【2.1.0 → 2.5.0 での変更点】

以下の機能を追加しました。

1. 従来の バッチスキャン機能とは別に、事前のプロファイル設定なしでスキャンが可能な シンプルスキャンモードを追加しました。
2. 既存ファイルのドラッグ &ドロップによるファイル表示とその後の追加スキャンが可能になりました。（ファイルを開くのみでスキャンは開始しません）

3. 新しいブラウズビュー（2x1）が利用可能になりました。選択された画像とその次の画像が表示領域に表示され、表と裏の画像を一度に見ることができます。
4. インデックス情報ファイルの出力項目のカスタマイズが可能になりました。
5. TIFF の JPEG 圧縮を Compression=6 と Compression=7 の切替えが可能になりました。
6. カラー・モノクロ自動判別、コードシート切替え、用紙長色判別で、一回のスキャンで複数の画像タイプが出力される場合、画像タイプ別に出力形式やフォルダー/ファイル名の出力が可能になりました。（バッチスキャンのみ）
7. 出力先に同名ファイルが存在する場合、ダイアログで別名保存またはファイル名を自動変名して保存が可能になりました。
8. SharePoint Online に対応しました。
9. ネットワーク負荷や HDD 容量削減などを考慮する場合に、画質が低下しても、グレー/カラー画像のファイルサイズを小さく出力するパラメーターを追加しました。
10. FTP 連携機能において、SFTP/FTPS をサポートしました。（バッチスキャンのみ）
11. 手差しモードでスキャン中、画像を確認しながら任意のタイミングでセパレートが可能になりました。

以下の機能を改善しました。

1. バッチスキャンの「完了」ボタンが押された後、次のバッチスキャンが可能になるまでの時間を短縮しました。
2. 読み取った画像に縦スジ等の異常がないか、追加/差替えスキャン中に確認が可能になりました。
3. ファイル名の「編集文字列」の最大文字数を 32 文字から 128 文字に拡張しました。
4. 「ブラウズ」「オールインワン」ビューのサムネイルサイズを変更/保持できるようになりました。
5. ブランクページセパレーション機能において、両面読み取り時、白紙原稿のみをセパレーターとする機能を追加しました。これにより、片面印刷された原稿を両面読み取りした場合でも期待通りのセパレーションが可能になります。（バッチスキャンのみ）

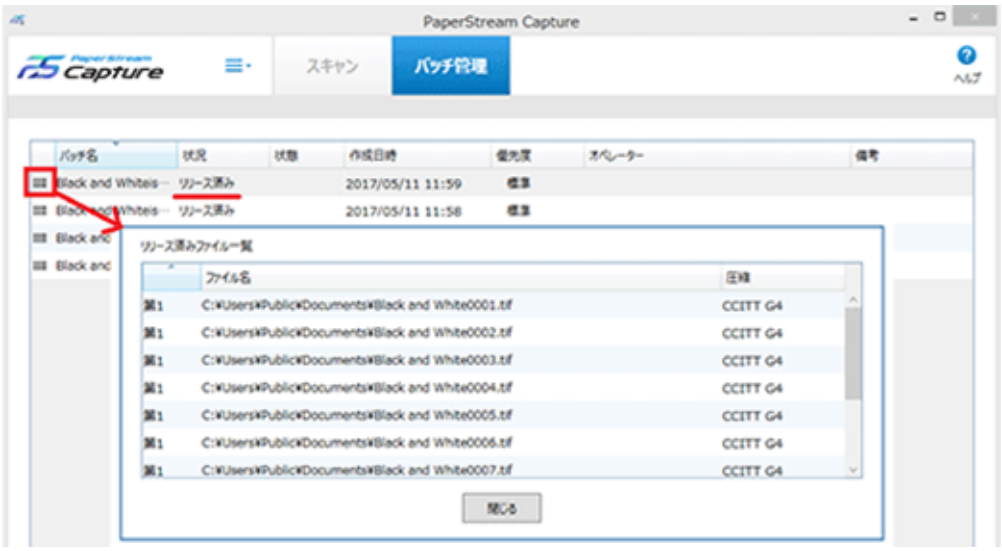
以下の不具合を修正しました。

1. SharePoint 連携において、「既定のビュー」を作成したライブラリに対するアップロードが失敗する不具合を修正しました。
2. スキャン後、サムネイルの表示順序がスキャンしたページ順と異なる場合がある問題を修正しました。
3. 非表示のドキュメントプロファイルが存在する場合、ホットキーによるドキュメントプロファイル実行時、ホットキーに割り当てたものとは異なるドキュメントプロファイルが実行される不具合を修正しました。
4. マルチイメージ出力でリリースエラーが発生した後、ページカウンターやドキュメントカウンターの初期値がストリーム間で異なり、期待するファイル名が出力されない不具合を修正しました。

【2.0.1 → 2.1.0 での変更点】

以下の機能を追加・改善しました。

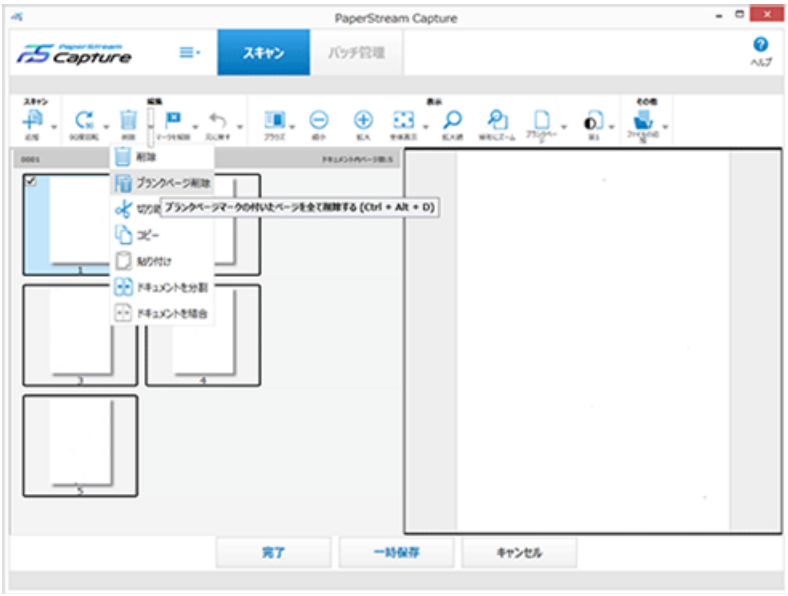
1. カラー自動判別、コードシート切替え、または用紙長による色判別でスキャンした場合においても、マルチページ TIFF の出力が可能になりました。
2. バッチフォルダー名に指定可能な文字数を 32 文字に拡張しました。
3. バッチ管理画面で、リリース済みファイルパス一覧を閲覧可能としました。



4. fi-7700 / fi-7600 / fi-7700S をサポートしました。
5. スキャン後の画像確認作業において、ブランクページを削除する操作手番を減らすため、UI を改善しました。

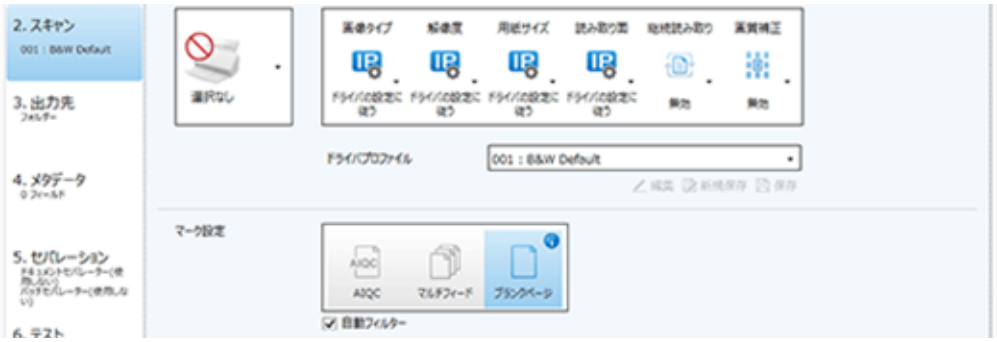
【スキャン後の確認・編集画面】

ブランクページ削除メニューを追加し、ブランクページマークの付いたページを一括削除できるようになりました。



【ドキュメントプロファイル定義画面】

「スキャン」タブの「マーク設定」で、ブランクページマークの自動フィルター指定を可能としました。自動フィルターを指定した場合、スキャン後、自動的にブランクページのみを表示できるようになりました。



以下の不具合を修正しました。

1. ドメイン環境において、バッチ名の名前規則 <Station Name> がコンピュータ名ではなくドメイン名になる問題を修正しました。
2. 以下の条件で、稀に PaperStream Capture が応答なし状態となる問題を修正しました。
   [条件 1]
   PaperStream IP (TWAIN)を使用し、かつスキャン中にイメージを表示しない設定のドキュメントプロファイルをバッチスキャンした場合
   [条件 2]
   PaperStream IP (TWAIN) を使用し、かつバッチスキャン後に追加スキャンした場合
3. ファイル名の名前規則にメタデータフィールド値のみを使用した場合、1.5.1 以前と2.0.1 で動作が異なる問題を修正しました。
   [1.5.1 以前]
   ファイル名が重複しない場合は全てのページがファイル出力される。
   ファイル名が重複した場合に不適切な上書き確認メッセージが表示される。
   [2.0.1]
   ファイル名の重複有無に関わらず、リリース時に SX03068Q メッセージが通知され、「はい」を選択すると 1 ファイル目のみをリリースし、「いいえ」を選択するとバッチはエラー状態となる。
   [2.1.0 修正後動作]
   ファイル名が重複しない場合は全てのページがファイル出力される。
   ファイル名が重複した場合に適切な上書き確認メッセージを通知する。
4. PaperStream Capture 1.5 以降において、ドキュメントプロファイル一覧のプロファイル名表示文字数が PaperStream Capture 1.0 と比較すると減少する問題に対し、ドキュメントプロファイルのアイコンサイズに 1.0 互換表示モードを追加しました。
   管理ツールの「一般」タブの「アイコンサイズ」から「大」を選択することで、1.0 互換表示モードに変更可能となります。

【1.0.12 → 2.0.1 での変更点】

以下の機能を追加・改善しました。

1. アドホックスキャン機能を追加しました。
   アドホックスキャン機能は既存のドキュメントプロファイルの設定内容を一時的に変更してスキャンする機能です。
2. リリース済みのバッチを削除するまでの期間を日単位で指定可能にしました。

3. バッチの確認と編集画面で、マルチページ PDF ファイルの挿入を可能にしました。
4. 出力ファイル名の名前規則に「シートカウンター」を追加しました。
   「シートカウンター」とは読み取った原稿の実際の枚数の値を示します。
5. ドキュメントプロファイルの定義で、「スキャン中に画像表示」と「スキャン後すぐにリリース」を同時に指定可能にしました。
6. ドキュメントプロファイルの設定内容に警告がある場合でも、ドキュメントプロファイルアイコンに警告マークを表示しないようにしました。
7. 「バッチ管理」画面において、バッチのツールチップに出力先、総ドキュメント数、総ページ数、フォルダーの名前規則、ファイルの名前規則を追加しました。
8. 「バッチ管理」画面において、リリースエラーとなったバッチの状態を「エラー」と表示し、リリースまたは一時保存が中断されたバッチと区別できるよう改善しました。
9. リリース中に応答が必要なバッチ、およびエラー、一時保存、中断状態のバッチが存在する場合、「バッチ管理」タブにアイコンで通知するよう改善しました。

アイコン	バッチの状態
	進行中（要ユーザー応答）
	エラー
	一時保存、中断

10. スキャンの確認/編集において、右クリックメニューに「ドキュメントを結合」を追加しました。
11. スキャンの確認/編集において、ビューモード変更時に表示拡大率が維持されるように改善しました。
12. スキャンの確認/編集において、セパレーターの追加やページ移動時に、サムネイルの表示位置が選択されていたページを基準にしていなかったために、操作性を改善しました。
13. 全ての操作に対してショートカットキーを割り当て、キーボード操作による画面操作を可能にしました。
14. スキャンの確認/編集において、「エリア設定」モード中にマウス右クリックで「エリア設定」モードを終了できるようにしました。
15. エリア設定画面で「エリア設定」モード中でも「>> 戻る」ボタンでエリア設定画面を終了できるよう改善しました。

以下の不具合を修正しました。

1. 出力先が FTP の場合、出力先フォルダーが PaperStream Capture 1.0 と 1.5 で非互換（1.5 はルートディレクトリがホームディレクトリ）を解消しました。
2. 出力ファイル形式がシングルページファイルの場合、ファイル命名規則にメタデータフィールド値を使用し、かつページカウンターを使用しなかった場合、リリース時に上書き確認メッセージ SX03068Q が通知されない問題を修正しました。
3. PaperStream Capture 1.5 で JPEG ファイル出力時の圧縮率指定が効かない問題を修正しました。

4. ファイル名の名前規則に編集文字列 <EDITSTR> を使用した場合に保存されるファイル名が異常となる問題を修正しました。
5. ヘルプに出力可能な PDF/A ファイルが PDF/A-1b であることを追記しました。
6. インデックス情報ファイル名にドキュメントカウンターが含まれる場合の、カウンター値が出力ファイル名のドキュメントカウンターの値と異なる問題を修正しました。

【1.0.4 → 1.0.12 での変更点】

以下の機能を追加しました。

1. PDF ファイルの出力・表示処理を全面的に見直しました。

2. Windows® 10 に対応しました。
   - 2 次元コード（QR Code, PDF417, Data Matrix のいずれか）を選択し、対象原稿を読み取った場合に、プログラム停止が発生する不具合を修正しました。
   - 以下の場合に検索可能な PDF に埋め込まれたテキスト情報が欠落して出力される不具合を修正しました。
     ・日本語以外の OS での日本語 OCR
     ・韓国語以外の OS での韓国語 OCR

以下の不具合を修正しました。

1. PDF ファイルの出力・表示処理を全面的に見直しました。
2. リリースが正常に完了し FTP サイトに登録済みであるのに、ローカルフォルダにエラー時のファイルが残る不具合を修正しました。
3. 特定の操作後、エラーが発生し、Scan/Send to ボタンからの読取り開始ができなくなる不具合を修正しました。
4. スキャン開始性能（TWAIN）を改善しました。
5. e-文書法対応の PaperStream IP がインストールされている場合、e-文書法対応のプリセットプロファイルでスキャンされないことがある不具合を修正しました。
6. SharePoint Server 連携時、複数ファイルをアップロードするとき、大容量のファイルのアップロードが途中で失敗するにもかかわらず、最終ファイルが正常にアップロード完了した場合は、正常終了してしまう不具合を修正しました。

【1.0.2 → 1.0.4 での変更点】

以下の機能を追加、または改善しました。

1. UI表示言語にトルコ語が追加になりました。
2. スキャン後、セパレーターを編集する機能を追加しました。
3. リリース時に出力ファイル名を編集する機能を追加しました。
4. PaperStream IP ドライバーのパッチコード検出する機能を追加しました。(本機能はTWAINのみ有効です。)
5. Data Matrix 2次元コードに対応しました。※2次元コードは、2D Barcode for PaperStream がインス

トールされている場合に利用できます。

6. 同名ファイル出力になる場合のワーニング表示方法を変更しました。また、ワーニングが列挙されるようになりました。
7. ページ詳細画面からサムネイル画面に戻る際、ページ詳細画面で表示していたページに戻るように変更しました。

以下の不具合を修正しました。

1. 本ソフトウェアで出力した、検索可能なPDFファイルの文字列が、Windowsのデスクトップサーチで検索できない場合がある問題を修正しました。
2. 一部の他社製ソフトウェアをインストールしている環境において、PaperStream Captureが起動しない場合がある問題を修正しました。

【1.0.1.3 → 1.0.2 での変更点】

以下の機能を追加、または改善しました。

1. UI 表示にアラビア語を追加しました。
2. 自動リリース、スキャニング中のイメージ表示の運用パターンを追加しました。
3. 右ボタンクリック、キーボードの操作を追加しました。
4. スキャン画面で ”元に戻す”、”やり直す”の機能を追加しました。
5. サムネイルの画質を改善しました。
6. サムネイル画面でのマウスホイール操作でのスクロールを追加しました。
7. 二値白黒画像のグレースケール表示機能を追加しました。
8. サムネイル画面でのドラッグ&ドロップでのページ移動操作で、移動先がわかりやすいように改善しました。

以下の不具合を修正しました。

1. バーコードのセパレータションの場合、ドキュメント名を選択してもドキュメント内サムネイルが選択状態にならない不具合を修正しました。
2. PDF 生成時にプログラムが異常終了する場合がある不具合を修正しました。

1.0.0.22 → 1.0.1.3 での変更点

対象機種：fi-7280／fi-7260／fi-7180／fi-7160

以下の不具合を修正しました。

1. 1000 枚程度のスキャン中にハングアップする場合がある不具合を修正しました。
2. 画像認識チェック機能で異常を検出時、およびマルチフィード検出時のマーク色を修正しました。
   変更内容：
   - 画像認識チェック　赤色 → 黄色
   - マルチフィード　黄色 → 赤色
3. サンプルプロファイルの名称を変更しました。
   変更は、「サンプルプロファイルをインストール時の状態にする」機能の実行時に反映されます。
4. タッチパネル PC で、アプリケーションが異常終了する場合がある不具合を修正しました。

以上